
祝 辞



(公財) 全日本空手道連盟
常任理事 高山 雅彦

本日、堺市立金岡公園体育館に於いて明武会鳳凰杯第17回オープン空手道交流大会が、このように盛大に開催されることを衷心よりお祝いとお慶びを申し上げます。

初めに本年元旦にまさかの能登半島地震により犠牲になられた方々のご冥福と被災された方の早期復興を大会ご参加の皆様と共に心から「いのり」を捧げたいと思います。

さて、本日はこの様に多くの選手の方々が各地から参加され、日頃の成果を発表される姿は晴れ晴れしく本当に嬉しく思います。

日本の伝統文化として育まれた空手道は、技を磨くと同時に心を磨くものであります。

オリンピック開催後はルールも変わり空手は競技として発展するものの、やはり身体を鍛え、規律や礼節を身に付けることで、技術のみならず忍耐力・勇気・協調性・思いやりを養う事ができるのが武道としての空手道であります。強ければ良い、勝てば良いというのでは決してありません。

本日出場の選手諸君は相手に対する尊敬と敬愛の念を忘れず、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し優秀な成績を目指し正々堂々と競技することを期待いたします。

終わりに、本大会開催に際しご尽力を頂きました関係者の皆様に、心から感謝と敬意を申し上げます。